

市町村名	座間味村							
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート								
事業名	DMO形成・確立及び法人誘客推進事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他					
担当部課名	総務・福祉課	事業実施(予定)年度	平成29～30年度					
事業内容	座間味村観光協会のDMO法人登録に向け、村内観光事業所が共有できる座間味村観光振興計画を策定する。 また、ダイビングやスノーケリングといったマリナクティビティを活用した企業向け研修プログラムを、29年度の座間味島に続き30年度は阿嘉島で開発する。 ※DMO…観光地域づくりの舵取り役を担う法人。観光庁の登録制度により、日本版DMO法人に選定される。							
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2～3年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,980	11,999				
		(b) 予算現額	19,980	11,999				
		(c) 増減額(b-a)	0	0				
		(d) 繰越額	0	0				
		A. 計(b+d)	19,980	11,999				
		B. 執行済額	19,980	11,988				
		うち補助金充当額	15,984	9,590				
		次年度繰越額	0	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%				
予算の状況の説明	当初の計画どおり事業は適正に執行できた。							
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	法人誘客プログラムによるテスト販売		目標 ()	2件	()	()		
			実績	1件				
	活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
座間味村観光振興計画の策定		目標 ()	1件	()	()			
		実績	1件					
達成状況説明	法人誘客プログラムによるテスト販売: 令和2年度は1件予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。 また、平成30年7月観光庁により日本版DMO候補法人に登録されたことを受け、DMO法人本登録に向けて村内事業所の理解を得るための共有できる上位計画として、平成31年3月に「座間味村観光振興計画」(素案)を策定した。							
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値(28年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(令和3年度)	
	入域観光客数(人)		目標	103,505	(-)	(-)	(-)	(120,000)
			実績		98,631	99,110	50,849	-
	成果目標(指標)		基準値(29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(令和2年度)	
	法人誘客プログラムによる誘致企業数(年間)		目標	0社	(10)	(20)	(30)	(30)
			実績		1	1	0	0
進捗状況説明	入域客数: 令和2年度の入域観光客数は50,849人となった。新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け入域観光客は大幅に減少となった。令和3年度も緊急事態宣言が発令されるなど影響は深刻で、同年度の目標値である入域観光客数120,000人を達成することは困難な状況である。 法人誘客: 令和元年度は企業のCSRとして、サンゴの植付け体験やビーチクリーン活動を阿嘉島で実施し、一定の評価を得たが、CSRの受け入れを観光客の減少する冬季に設定していることもあり、年度の終盤は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け誘致企業数の目標は達成できなかった。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>入域客数: 新型コロナウイルス感染症の影響によって、入域客数が大きく減少するため感染状況の動向への注視が必要である。</p> <p>法人誘客: 新型コロナウイルス感染症の状況によって事業の実施が困難となる。陸域ガイドの育成に加え、企業や社会に対する周知が不十分。</p>	<p>入域客数: 新型コロナウイルスとの共存に向けて、観光振興と感染対策を両立するための取組が必要となる。</p> <p>法人誘客: 今後はワーケーション等も視野に入れた取り組みが必要。サンゴの植付け体験に関しては、安全に実施できる体制は整っているが、より満足度の高い体験とするために、植え付けたサンゴの成長を定期的に発信するなど継続的な関わりが必要。また、陸域ガイドの育成や旧道の整備を行い、涼しい冬季に陸域を散策するプログラムを検討する。</p>

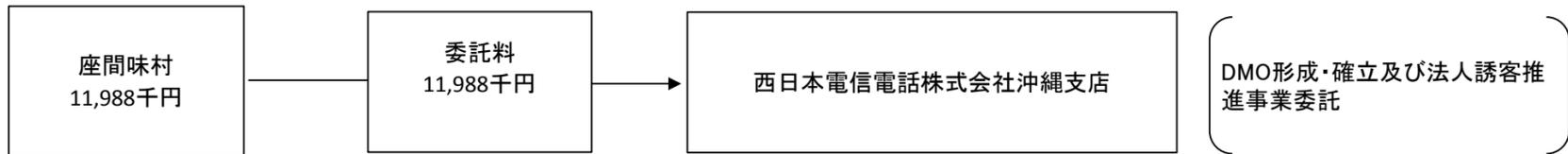
今後の取り組み方針

入域客数:
ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた観光振興の施策を展開することにより、入域客数の目標達成に向けて事業を実施していく。

法人誘客:
村内ガイドがファシリテーターとして自信をつけるまで、村外の専門家を招へいすることを検討する。また事業PRのため、村ホームページなどで、座間味村における企業の研修をレポートし、地域貢献につながっていることや参加した企業人にとっても意義ある体験になっていることを対外的に発信していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金		補助対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,988	11,988	9,590	2,398	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・用途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	座間味村プロポーザル方式業者選定実施要綱により公募し選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模及び事業内容については、業者選定時に村プロポーザル委員会(幹部職員で組織)で精査している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、事業検収時に確認されている。